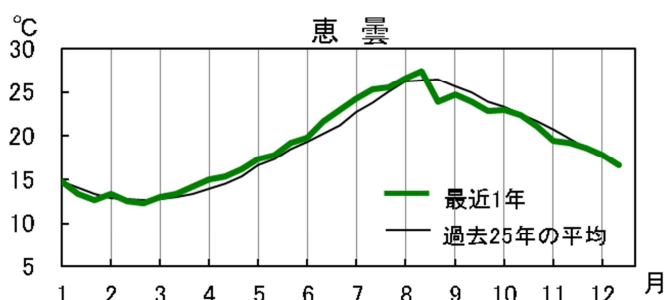
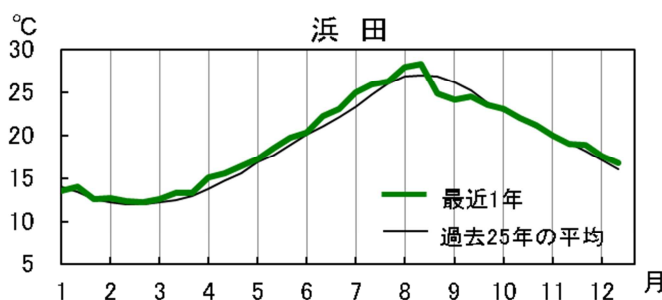




《11～12月の海況》

10月	月平均	平年差	評価
浜田	19.3℃	+0.2℃	平年並み
恵曇	19.1℃	-0.5℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では、11月上・中旬は「平年並み」、下旬は「やや高め」となり、12月に入り上旬時点で「平年並み」で経過しています。恵曇地区では、10月上・中旬は「やや低め」、下旬は「平年並み」となり11月に入り上旬時点で「平年並み」で経過しています。



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は33.4トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類は442トンで平年の3.8倍、マアジは212トンで平年の5割となりました。隠岐地区ではブリ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は70.3トンで平年並みとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、ブリは2,468トンで平年の1.7倍、マアジは2,250トン、サバ類は1,689トンでそれぞれ平年並みとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の99%）主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は85kgで平年を下回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではケンサキイカ（全体の98%）が主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は41kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、ムシガレイ、ソウハチを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は13.1トンで平年並みでした。魚種別の動向（総漁獲量）は、アカムツは平年の6.0倍、ムシガレイは平年の8割、ソウハチは平年の9割の水揚げでした。その他、マダラは平年の2.3倍、アマダイは平年の3.8倍、ヒラメは平年の2.4倍の水揚げだった一方、アンコウは平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の9割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、ヤリイカ、キダイ、マダラ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は746kgで平年の9割の水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、ソウハチは平年の7割、アンコウは平年の1.4倍、ヤリイカは平年の1.1倍、キダイは平年の8割、マダラは平年の4割でした。その他、アンコウは平年の8割、ニギスは平年並み、アナゴ・ハモ類は平年の9割、アカムツは平年並の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は33.0トンで平年並みでした。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類は全体の漁獲量6割を占め平年の5.7倍、マアジは平年の9割の漁獲量でした。石見地区ではサバ類、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は41.1トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類は全体の漁獲量の6割を占め、平年の3.1倍、サワラ類は平年の1.8倍、マアジは平年の7割の漁獲量でした。隠岐地区ではサバ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は18.1トンで平年並みでした。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類は平年の2.6倍、ブリは平年の1.9倍、マアジは平年の8割の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は30kgで平年並みでした。石見地区ではケンサキイカ、サワラ類、ヒラマサが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は23kgで平年並みでした。隠岐地区ではクロマグロ、メダイ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は22kgで平年並みでした。

【平成 28 年 11 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	669 トン	337%	111%	33.4 トン	320%	146%	◎
	隠岐	ブリ、マアジ、サバ類	7,385 トン	120%	74%	70.3 トン	145%	81%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	23 トン	96%	34%	85kg	88%	62%	○
	西郷	ケンサキイカ	3 トン	219%	25%	41kg	93%	18%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、ムシガレイ、ソウハチ	341 トン	97%	102%	13.1 トン	86%	87%	○
小型底びき 網	大田	ソウハチ、ヤリイカ、キダイ、マダラ	381 トン	75%	78%	746kg	89%	86%	▲
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ	429 トン	172%	121%	33.0 トン	172%	114%	○
	石見	サバ類、サワラ類、マアジ	164 トン	186%	166%	41.1 トン	186%	191%	◎
	隠岐	サバ類、ブリ、マアジ	54 トン	148%	126%	18.1 トン	99%	116%	○
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、サワラ	39 トン	75%	61%	30kg	103%	102%	○
	石見	ケンサキイカ、サワラ類、ヒラマサ	41 トン	98%	66%	23kg	119%	80%	○
	隠岐	クロマグロ、メダイ、ブリ	18 トン	72%	47%	22kg	105%	84%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

【ケンサキイカ情報】

今月号は島根県のみでのケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）情報を掲載いたします。

I：11月のイカ釣り漁況

浜田漁港データ（5t未満船）を利用しています。折れ線グラフはCPUE（1日の1隻当りの漁獲量kg）、円グラフは銘柄割合を示しています。

